令和6年(2024年)度年間授業計画表					
学年	2年	学科	全学科	必選	必履修
教科	家庭	科目	家庭総合	単位	2単位
使用教材	家庭総合 明日の生活を築く(開隆堂)				
学習目標	①人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費者、環境などについて、生活を主体的に営むに必要な科学的な理解を図るとともに、技術も身につける。 ②家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出し、解決法を探り、それらを解決する力を養う。 ③様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて、地域社会に参画するとともに、生活文化を伝承し、家庭や地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。				
単元と内容					
1学期	◇食生活の科学と文化 ◇調理実習	・栄養の特徴、食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活、自己と家族の食生活の計画・管理。 ・おいしさの構成要素、食品の調理上の性質、食品衛生。 ・目的に応じた調理に必要な技能料理の様式に適した調理法や食器、盛り付けなどを踏まえて食事を整える。調理実習①洋食献立。			
2学期	◇子どもの生活と保育 ◇調理実習	・健康及び環境に配慮した自己と家族の食事、日本の食文化の継承・創造、持続可能な食生活、調理実験②飲料水の糖分。 ・乳幼児期の心身の発達と生活、子供の遊びと文化、親の役割と保育、子育て支援、絵本読み聞かせ実習。 ・子供を取り巻く社会環境の変化や課題及び子供の福祉。調理実習②和食献立。 ・子供を生み育てることの意義、保育の重要性、親・家族・地域・社会の果たす役割の重要性、調理実習③クリスマス献立。			
3学期	◇住生活の科学と文化 ◇持続可能な消費生活 ◇調理実習	・住生活を取り巻く課題、日本と世界の住文化。 ・住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能、住生活の計画・管理、快適で安全な住空間、日本の住文化の継承・創造。 ・経済の管理・計画、金融商品、調理実習④中華献立。			
評価					
評価の観点		評価の趣旨			
I	知識・技能	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて科学的に理解しているとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付ける。			
II	思考・判断・表現	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて理論的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。			
III	主体的に学習に取り組む態度	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。			
評価方法	観点 I	観点 II	観点 III	年間時数	
	ペーパーテスト 実習の取り組み 授業時プリント・実習ノート	ペーパーテスト 実習の取り組み 授業時プリント	振り返りシート 授業プリント 授業の取り組み (座学・実習)	予定	
				70 時間	
				実施	
置賜農業育てる能力		①健康 ②自己肯定感 ③忍耐力 ④主体性 ⑤生命 ⑥他者理解 ⑦協調性 ⑧誠実 ⑨生きる力 ⑩知識技能 ⑪地域づくり ⑫実践奉仕 ⑬社会貢献			